

14 インターネットを活用した研究セミナー等に関する調査研究

研究代表者 馬場 祐次郎（社会教育実践研究センター センター長）

①研究の趣旨，ねらい

エル・ネットにおける衛星通信からインターネットを活用したシステムへの移行を踏まえ、社会教育主事講習[B]において、ライブ配信による講義等の試行を実施し、平成 20 年度より実施するインターネットによる社会教育主事講習のライブ配信がスムーズに移行できるよう、運用方法等における課題を明らかにし、その対応方策を検討する。

②研究成果の概要

- インターネットを活用したエル・ネットシステムへの移行に伴う遠隔社会教育研修のライブ配信試行を実施し、インターネットによる社会教育主事講習のライブ配信がスムーズに移行できるよう、運用方法等における課題を明らかにし、その対応方策を検討した。
- ライブ配信試行の結果を踏まえて、平成 20 年度から本格的な運用が始まるエル・ネットシステムによるライブ配信をスムーズに進めるための対応ポイントを「送信側」「受信側」「講師」の 3 つの視点によりまとめた。
- 本調査研究委員会にワーキンググループを設置し、学習効果を高めるための遠隔社会教育研修用教材の在り方を検討するとともに、新たにエル・ネットシステムにおけるオンデマンド配信による学習コンテンツとして「図書館関係職員研修」を制作した。
- 生涯学習に関する e ラーニングの先駆的な取組について、遠隔学習における効果を高めるための学習支援者としてのチューターの活動状況、意義、役割、課題等を明らかにするための聞き取り調査を実施した。
- 社会教育実践研究センターにおける、これまでエル・ネット及びインターネットを活用した遠隔社会教育研修に関する調査研究の成果等についてまとめた。
- 新エル・ネットシステムにおける今後の遠隔社会教育研修の課題について「ライブ配信の運用」「遠隔社会教育研修用教材の活用・開発」「学習支援者としての『チューター』の在り方」の 3 つの視点によりまとめた。

③中期目標との関連性

- 中期目標〔目標4〕社会教育分野での実践的な調査研究に関連するものである。特に、遠隔社会教育研修における学習支援者としてのチューターの在り方や遠隔社会教育研修用教材の在り方を検討することから(2)社会教育関係職員の資質向上を図る取組への支援の実施に関連する調査研究である。
- 社会教育実践研究センターの活動目標【目標2】社会教育事業を充実発展させるための新たな手法の開発や社会教育事業の検証・評価に関する調査研究を推進することに合致するものであり、特にITを活用した社会教育指導者の研修等の在り方を明らかにするものである。

④今後の研究予定

- 平成20年度に「インターネットを活用した研究セミナー等に関する調査研究」を継続して実施し、その結果を研究報告書にまとめる。

⑤キーワード

- (1) エル・ネット
- (2) インターネット
- (3) 遠隔社会教育研修
- (4) 遠隔社会教育研修用教材
- (5) 学習支援者
- (6) チューター

⑥本研究の研究報告書

- インターネットを活用した研究セミナー等に関する調査研究報告書

⑦関連する先行研究や参考となる研究等

- 「衛星通信等による遠隔社会教育研修・学習支援に関する調査研究」
：社会教育実践研究センター 平成14年度
- 「インターネットを活用した社会教育研修プログラムの研究開発」
：社会教育実践研究センター 平成15年度
- 「生涯学習センター等における遠隔社会教育研修プログラムの運用に関する調査研究」
：社会教育実践研究センター 平成16年度～平成17年度
- 「インターネットを活用した研究セミナー等に関する調査研究」
：社会教育実践研究センター 平成18年度